

【ネットカンファレンスプレゼンテーション資料】  
2017年度 第2四半期決算

2017年11月6日  
住友商事株式会社

将来情報に関するご注意

本資料には、当社の中期経営計画等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣が中期経営計画を成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であります。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

# 1. 経営成績

BE THE BEST. BE THE ONE

(単位:億円)	2016年度 第2四半期実績 ①	第1四半期 単独	第2四半期 単独	2017年度 第2四半期実績 ②	前年同期比 ②-①
	<b>当期利益</b>	<b>658</b>	782	771	<b>1,553</b>
<b>基礎収益<sup>*1</sup></b>	<b>920</b>	774	743	<b>1,517</b>	<b>+597</b>
うち、資源ビジネス <sup>*2</sup>	△33	136	146	282	+315
うち、鋼管事業 <sup>*2</sup>	△66	24	15	39	+105
うち、その他非資源	1,018	615	581	1,196	+178
<b>一過性損益</b>	約 △170	約 +60	約 +90	約 <b>+150</b>	約 <b>+320</b>

## 〈 2017年度第2四半期実績（前年同期比） 〉

- **資源ビジネス** : ✓ 資源価格上昇の影響により増益
- **鋼管事業** : ✓ 北米鋼管事業 収益改善
- **その他非資源** : ✓ 不動産事業 及び リース事業 堅調  
✓ 大型EPC案件 建設進捗
- **一過性損益** : ✓ (前期) ポルビア銀・亜鉛・鉛事業 税引当 等あり  
✓ (当期) 資産入替に伴う一過性利益 等あり

(参考) 主要指標		2016年度 第2四半期実績	2017年度 第2四半期実績
為替	〈YEN/US\$〉	105.25	111.04
金利	LIBOR 6M(YEN)	0.00%	0.01%
	LIBOR 6M(US\$)	1.04%	1.44%
銅※	(US\$/MT)	4,699	5,749
亜鉛	(US\$/MT)	2,085	2,779
ニッケル	(US\$/lb)	4.33	4.49
鉄鉱石※	(US\$/MT)	53	75
石炭	原料炭 (US\$/MT)	88	182
	一般炭 (US\$/MT)	62	85
原油	Brent※ (US\$/bbl)	40	52
	WTI (US\$/bbl)	45	48

\*1 基礎収益 = (売上総利益 + 販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額) + 利息収支 + 受取配当金) × (1 - 税率) + 持分法による投資損益

\*2 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

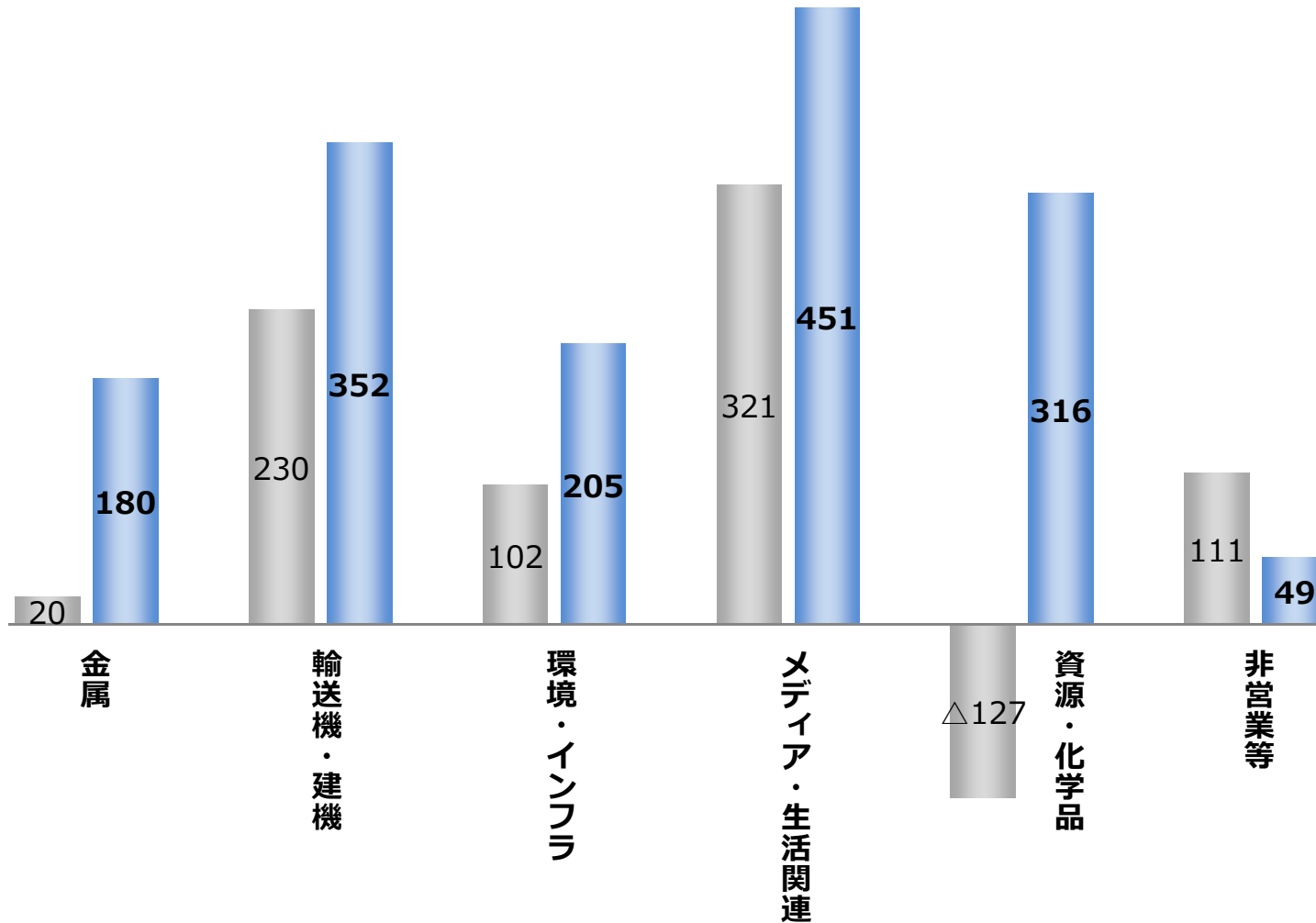
\* ※印の商品は1-6月、その他の商品は4-9月の価格を記載

\* 石炭…市場情報に基づく一般的な取引価格

## 2. セグメント別 当期利益 (グローバルベース\*)

■ 2016年度 第2四半期実績 ■ 2017年度 第2四半期実績

(単位：億円)



### 〈セグメント別業績概要〉

【2017年度 第2四半期実績の概要】

#### ■ 金属

- ✓ 北米鋼管事業 収益改善
- ✓ 海外スチールサービスセンター事業 堅調
- ✓ 資産入替に伴う一過性利益あり

#### ■ 輸送機・建機

- ✓ リース事業 堅調
- ✓ 船舶事業 市況回復基調
- ✓ 建機販売 及び 建機レンタル事業 堅調

#### ■ 環境・インフラ

- ✓ 海外発電事業 堅調
- ✓ 大型EPC案件 建設進捗
- ✓ 再生可能エネルギー分野における一過性利益あり

#### ■ メディア・生活関連

- ✓ 国内主要事業会社 及び 不動産事業 堅調
- ✓ 資産入替に伴う一過性利益あり

#### ■ 資源・化学品

- ✓ ポリビア銀・亜鉛・鉛事業、南アフリカ鉄鉱石事業 及び 豪州石炭事業 堅調
- ✓ 前年同期 源泉税に係る税引当あり

\* 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、各事業セグメントの業績に含めて算出した参考値

### 3. キャッシュ・フロー／財政状態

#### ● キャッシュ・フロー実績

(単位：億円)

	2016年度 第2四半期	2017年度 第2四半期
営業活動	+1,750	+500
投資活動	△265	△290
<b>フリーキャッシュ・フロー</b>	<b>+1,485</b>	<b>+211</b>
▽		
<b>&lt;キャッシュ・イン&gt;</b>		
基礎収益キャッシュ・フロー*	+1,039	+1,648
減価償却費	+553	+586
資産入替による回収	約 +500	約 +1,200
その他の資金移動	約 +500	約 △1,800
<b>&lt;キャッシュ・アウト&gt;</b>		
投融資実行	約 △1,100	約 △1,400

\* 基礎収益キャッシュ・フロー = 基礎収益 - 持分法による投資損益 + 持分法投資先からの配当

< 2017年度第2四半期実績の概要 >

- **基礎収益キャッシュ・フロー**
  - ✓コアビジネスが着実にキャッシュを創出
  - ✓持分法投資先からの配当 (878億円)
- **資産入替による回収**
  - ✓欧州自動車金融事業 売却
  - ✓米国ワイズビル 一部売却 等
- **その他の資金移動**
  - ✓運転資金の増加 等
- **投融資実行**
  - ✓ブラジル 水事業/ミャンマー通信事業 等

#### ● 財政状態

2016年度末

総資産 **7.8兆円**

流動資産 3.3兆円	その他の負債 2.0兆円
	有利子負債 3.4兆円
	(現預金Net後 2.6兆円)
非流動資産 4.4兆円	株主資本*
	2.4兆円

D/E Ratio(Net) : 1.1

2017年度第2四半期末

総資産 **8.0兆円**

流動資産 3.5兆円	その他の負債 2.0兆円
	有利子負債 3.4兆円
	(現預金Net後 2.6兆円)
非流動資産 4.5兆円	株主資本*
	2.5兆円

D/E Ratio(Net) : 1.0

< 2017年度第2四半期実績の概要 >

- **総資産 +1,899億円**  
(77,618億円→79,517億円)  
✓棚卸資産増加 等
- **株主資本 +1,574億円**  
(23,665億円→25,239億円)  
✓当期利益の積み上げ  
✓配当金の支払い

	2016年度末	2017年度 第2四半期末
為替 (YEN/US\$)	112.19	112.73

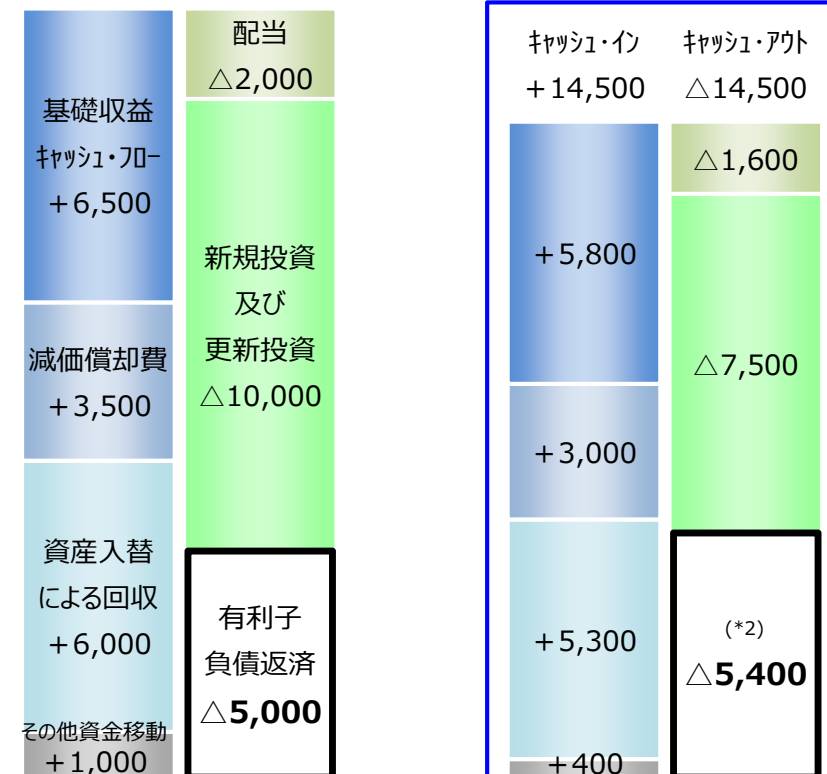
\* 株主資本…資本の内、「親会社の所有者に帰属する持分合計」

内、「在外営業活動体の換算差額」：1,576億円→1,737億円、「FVTOCIの金融資産」：1,730億円→1,878億円

#### (参考) BBBO2017<sup>(\*)</sup>キャッシュ・フロー計画進捗

キャッシュ・イン    キャッシュ・アウト    (単位：億円)

+17,000    △17,000



#### 3年合計計画

(2015年4月～2018年3月)

#### 累計実績

(2015年4月～2017年9月)

- (\*) 当社は、2015年4月～2018年3月の3か年を対象とする現行の中期経営計画「Be the Best, Be the One 2017(BBBO2017)」において、3年合計で配当後フリーキャッシュ・フローを5,000億円確保し、回収した資金で有利子負債を返済する計画としております。  
尚、2017年11月に以下の見直しを行い、上記は見直し後の数値を記載しております。
- ・基礎収益キャッシュ・フロー +500 (+6,500 ← +6,000)
  - ・減価償却費 +500 (+3,500 ← +3,000)
  - ・その他の資金移動 △1,000 (+1,000 ← +2,000)

(\*) 配当後フリーキャッシュ・フロー累計実績のマイナス値を記載しております。

# 4. 2017年度 通期見通し

BE THE BEST. BE THE ONE

(単位:億円)	2016年度 実績	2017年度 期初予想 (2017年5月公表) ①	第2四半期 実績 ②	2017年度 通期見通し (2017年11月公表) ③	期初予想比 ③-①	進捗率 ②/③
<b>当期利益</b>	1,709	<b>2,300</b>	1,553	<b>2,800</b>	<b>+500</b>	<b>55%</b>
<b>基礎収益*<sup>1</sup></b> (除、減損損失)	2,267	<b>2,600</b>	1,517	<b>3,000</b>	<b>+400</b>	<b>51%</b>
うち、資源ビジネス* <sup>2</sup>	161	300	282	500	+200	56%
うち、鋼管事業* <sup>2</sup>	△125	0	39	75	+75	52%
うち、その他非資源	2,231	2,300	1,196	2,425	+125	49%
<b>一過性損益</b>	約 △460	約 △ <b>200</b>	約 <b>+150</b>	約 △ <b>100</b>	約 <b>+100</b>	-
体質改善コスト	-	約 △200	-	約 △200		
その他	約 △460	-	約 +150	約 +100		

## 〈 2017年度通期見通し 〉

- **資源ビジネス** : ✓ 資源価格上昇の影響
- **鋼管事業** : ✓ 市況回復に伴う需要増加などにより、収益改善
- **その他非資源** : ✓ 各部門の主要ビジネス・事業会社が堅調に推移
- **一過性損益** : ✓ 上半期に資産入替に伴う一過性利益 等あり  
✓ 体質改善コスト (約△200億円) は据え置き

(参考) 主要指標	2017年度 期初予想	第2四半期実績	2017年度 通期見通し
為替 (YEN/US\$)	110.00	111.04	110.00
金利	LIBOR 6M(YEN)	0.05%	0.05%
	LIBOR 6M(US\$)	1.73%	1.65%
銅※ (US\$/MT)	5,864	5,749	6,191
亜鉛 (US\$/MT)	2,650	2,779	2,985
ニッケル (US\$/lb)	4.60	4.49	4.89
鉄鉱石※ (US\$/MT)	70	75	70
石炭	原料炭 (US\$/MT)	150	182
	一般炭 (US\$/MT)	78	85
原油	Brent※ (US\$/bbl)	53	54
	WTI (US\$/bbl)	52	48

※印の商品は1-12月 (実績 1-6月) 価格を記載、  
その他の商品は4-3月 (実績 4-9月) 価格を記載

\* 石炭…市場情報に基づく一般的な取引価格

\* 為替の影響 (通期見通し) …1円/US\$の変動で±約10億円

\*1 基礎収益=(売上総利益+販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額)+利息収支+受取配当金)×(1-税率)+持分法による投資損益

\*2 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

## 5. 2017年度 セグメント別通期見通し(グローバルベース\*)

(単位:億円)	2016年度 実績	2017年度 期初予想 (2017年5月公表) ①	2017年度		増減 ③-①	進捗率 ②/③	<通期見通しの主な概要>
			第2四半期 実績 ②	通期見通し (2017年11月公表) ③			
金属	18	250	180	300	+ 50	60%	・北米鋼管事業 収益改善 ・海外スチールサービスセンター事業 堅調 ・マレーシアアルミニウム製錬事業 堅調
輸送機・建機	563	570	352	700	+ 130	50%	・リース事業 堅調 ・船舶事業 市況回復基調 ・建機販売 及び 建機レンタル事業 堅調
環境・インフラ	291	290	205	370	+ 80	56%	・海外発電事業 堅調 ・大型EPC案件 建設進捗 ・再生可能エネルギー分野における一過性利益あり
メディア・生活関連	770	860	451	880	+ 20	51%	・国内主要事業会社 及び 不動産事業 堅調 ・資産入替に伴う一過性利益あり
資源・化学品	△66	530	316	630	+ 100	50%	・資源価格上昇の影響により豪州石炭事業等 増益
<b>事業部門計</b>	<b>1,576</b>	<b>2,500</b>	<b>1,504</b>	<b>2,880</b>	<b>+ 380</b>	<b>52%</b>	
非営業等	133	△200	49	△80	+ 120	-	・体質改善コスト 据え置き (約△200億円)
<b>合計</b>	<b>1,709</b>	<b>2,300</b>	<b>1,553</b>	<b>2,800</b>	<b>+ 500</b>	<b>55%</b>	

\* 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、各事業セグメントの業績に含めて算出した参考値

基本方針	長期にわたり安定した配当を行うことを基本方針としつつ、中長期的な利益成長による1株当たりの配当額増加を目指す。
------	---

BBBO2017 配当方針	年間配当金50円/株を下限とし、連結配当性向25%以上を目安に、基礎収益やキャッシュ・フローの状況等を勘案の上、配当額を決定。
------------------	---

配当金		期初（5月）	今回（11月）
	当期利益	2,300億円	<b>2,800億円</b>
	年間配当/株 (中間配当/株)	50円 (25円)	<b>56円 (28円)</b>

当期利益 通期見通し 2,800億円に連結配当性向25%を適用

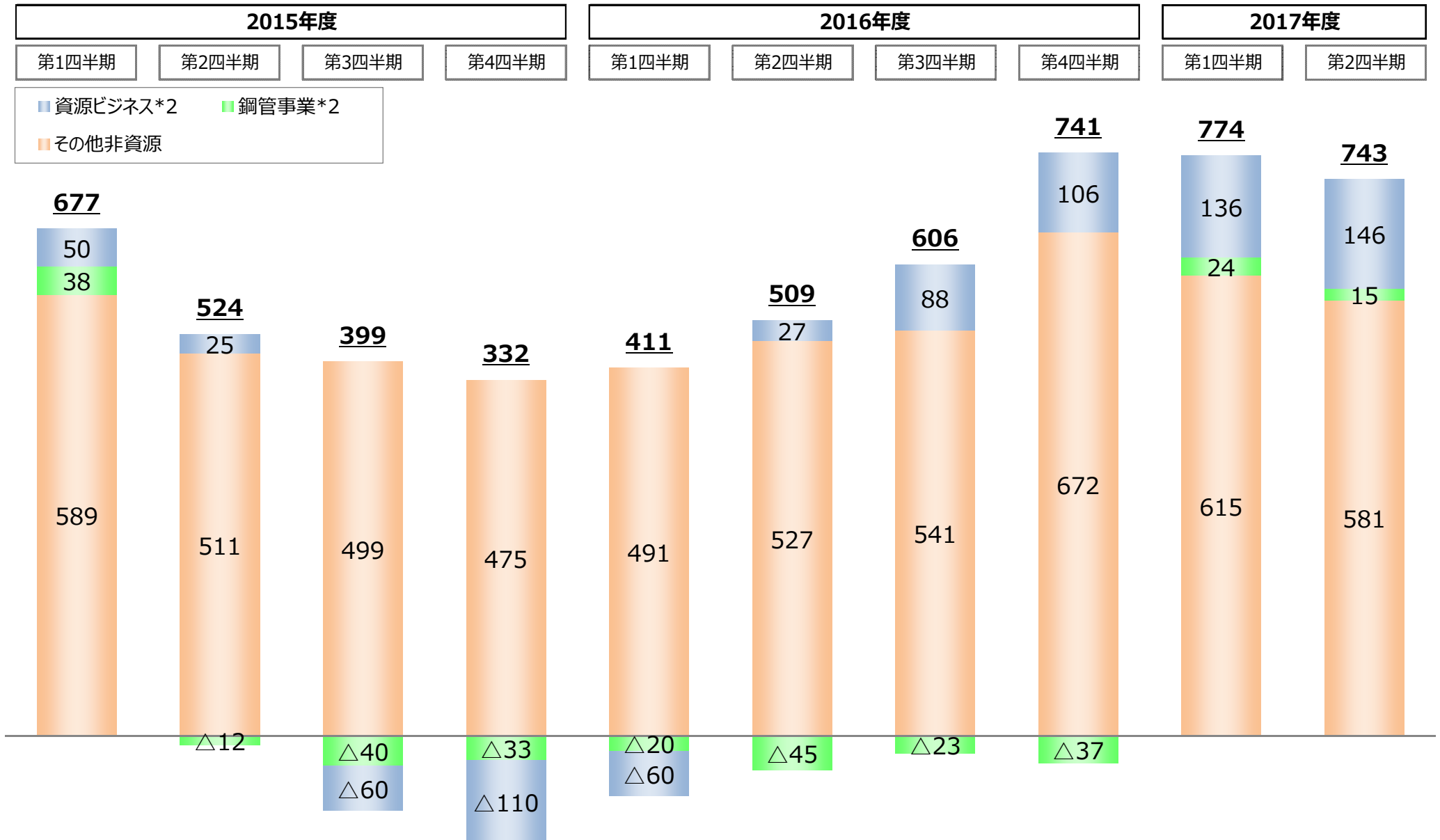
# Appendix



# 7. 基礎収益\*1 四半期推移

BE THE BEST. BE THE ONE

(単位：億円)



\*1 減損損失の影響を除いた基礎収益を記載

\*2 海外現地法人・海外支店セグメントの業績を、資源ビジネス・鋼管事業の業績に含めて算出した参考値

## 8. 要約連結包括利益計算書

(単位：億円)	2016年度 第2四半期実績 (2016/4-9)	2017年度 第2四半期実績 (2017/4-9)	前年同期比		2017年度第2四半期実績の概要
			金額	増減率	
収益	18,589	<b>22,935</b>	4,346	23%	«売上総利益» ・資源価格上昇の影響 (ボリビア銀・亜鉛・鉛事業、豪州石炭事業 等) ・北米鋼管事業 収益改善 ・大型EPC案件 建設進捗 ・不動産事業 堅調  «持分法による投資損益» ・資源価格上昇の影響 ・リース事業 堅調 ・マレーシアアルミニウム製錬事業 堅調  «有価証券損益/固定資産損益/その他の損益» ・当期 資産入替に伴う一過性利益あり ・前年同期 ボリビア銀・亜鉛・鉛事業 税引当あり
売上総利益	3,991	<b>4,673</b>	681	17%	
販売費及び一般管理費 (内、貸倒引当金繰入額)	△3,364 (2)	△ <b>3,595</b> (△5)	△231 (△7)	△7% -	
利息収支	△15	△ <b>25</b>	△10	△66%	
受取配当金	47	<b>58</b>	11	24%	
持分法による投資損益	467	<b>747</b>	281	60%	
有価証券損益	△26	<b>109</b>	135	-	
固定資産損益	△14	<b>26</b>	41	-	
その他の損益	△123	<b>34</b>	157	-	
税引前利益	962	<b>2,027</b>	1,065	111%	
法人所得税費用	△235	△ <b>381</b>	△146	△62%	
当期利益	727	<b>1,646</b>	919	126%	
当期利益の帰属：					
親会社の所有者	<b>658</b>	<b>1,553</b>	895	136%	
非支配持分	70	<b>93</b>	24	34%	
基礎収益*	920	<b>1,517</b>	597	65%	
包括利益(親会社の所有者に帰属)	△1,428	<b>1,884</b>	3,312	-	

\* 基礎収益 = (売上総利益 + 販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額) + 利息収支 + 受取配当金) × (1 - 税率) + 持分法による投資損益

## 9. 主要経営指標

BE THE BEST. BE THE ONE

	2015年度 実績 (2016/3末)	2016年度 実績 (2017/3末)	2017年度 通期見通し (11月) (2018/3末)	2017年度 期初予想 (5月) (2018/3末)
当期利益	745億円	1,709億円	2,800億円	2,300億円
総資産	7兆8,178億円	7兆7,618億円	8兆円	8兆円
株主資本	2兆2,515億円	2兆3,665億円	2兆6,000億円	2兆5,000億円
株主資本比率	28.8%	30.5%	32.5%程度	30%程度
有利子負債(Net)	2兆7,703億円	2兆6,279億円	2兆7,000億円	2兆7,000億円
DER(Net)	1.2倍	1.1倍	1.0倍程度	1.1倍程度
ROA	0.9%	2.2%	3.5%程度	2.5%以上
ROE	3.2%	7.4%	11%程度	9.0%程度
リスク・リターン	3.2%	7.7%	12%程度	9.0%以上
基礎収益キャッシュ・フロー	+2,043億円	+2,106億円	3年合計 +6,500億円	3年合計 +6,000億円
フリーキャッシュ・フロー	+5,143億円	+1,651億円	3年合計 +7,000億円	3年合計 +7,000億円
配当後フリーキャッシュ・フロー	+4,519億円	+1,027億円	3年合計 +5,000億円	3年合計 +5,000億円
リスクアセット [RA]	2兆2,000億円	2兆2,400億円	2兆4,000億円	2兆4,000億円
コア・リスクバッファ [RB]*	2兆1,400億円	2兆2,200億円	2兆5,000億円	2兆4,000億円
(コアRB-RA)	(△600億円)	(△200億円)	バランス回復	バランス回復

\* コア・リスクバッファ = 資本金 + 剰余金 + 在外営業活動体の換算差額 - 自己株式

# 10. セグメント別投資実績

	投資額（億円）		中期経営計画期間中の 主な投資実績
	実績 (15/4-17/9)	3年合計計画 (15/4-18/3)	
金属	420	1,200	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国 車軸加工事業</li> <li>・欧州 自動車用鍛造部品事業</li> </ul>
輸送機・建機	1,950	2,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米国 建機レンタル事業 100%子会社化</li> <li>・ブラジル 風力発電向け鍛造品製造・販売事業</li> </ul>
環境・インフラ	1,210	1,400	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欧州 洋上風力発電事業</li> <li>・国内 バイオマス発電事業</li> </ul>
メディア・生活関連	2,530	2,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アイルランド 青果物生産・卸売企業（Fyffes社）</li> <li>・国内外不動産事業</li> </ul>
資源・化学品	1,460	1,800	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マレーシア マンガン製造販売事業</li> <li>・マダガスカル ニッケル事業</li> </ul>
(内、上流権益)	(1,280)	(1,400)	
合計	7,500	10,000	